

特集 文化財保護法 50年記念

インタビュー ● 8 シドニー五輪 金メダリストからのメッセージ
高橋尚子×田村亮子
大島理森

巻頭言 12 文化財保護の五〇年とこれからの問題

小島美子

解説 14 文化財保護制度の発展と五〇年記念事業について
文化庁文化財保護部

事例紹介① 18 酒船石遺跡の調査と保存活用に向けて―奈良県明日香村教育委員会

事例紹介② 22 近代化遺産の保存と活用
国立科学博物館

事例紹介③ 26 重要文化財「旧函館区公会堂」のデジタルアーカイブ
凸版印刷株式会社

事例紹介④ 30 総合学習「体験！ 歴史探検隊」―大阪府富田林市立小金台小学校

事例紹介⑤ 34 文化遺産保存の国際協力
東京国立文化財研究所

随想 38 民家の修理をとおして
工藤圭章

40 古都千年、獅子も千年
高橋秀雄

42 三九組の平城宮跡発掘
町田章

解説 44 伝統文化を活かした地域おこしの視点と実践／史跡等の整備と活用／世界遺産条約の締結と我が国の世界遺産／近代歴史資料・美術の保存と活用／登録有形文化財制度とその活用

特別記事 ● 学生の立場に立った大学づくりを目指して

論文 52 学生の立場に立った大学づくりを目指して
平野敏政

事例紹介① 54 ヒア・サポート・ルーム
広島大学

事例紹介② 56 総合的な能力開発支援組織
京都産業大学

解説 58 大学における学生生活の充実方策について
高等教育局学生課

カラー

1 記念館めぐりのゆかりの地を訪ねて

鹿沼市立川上澄生美術館
(栃木県)

4 この道を行く

奥州街道蓑ヶ坂

表2 誌上展示室

テイంగాテイంగా

表3 文化財紹介

螺鈿

60 焦点―文教施策

63 中教審ニュース

67 マンガで見る教育の情報化

68 都道府県発
●教育・学術・文化・スポーツニュース

70 レッツ
トライ―
埼玉県、山梨県、石川県、大阪市
国立中央青年の家

72 スポーツを活かしたまちづくり
神戸市

74 全国子どもメン
子どもパークレンジャー

76 総合的な学習の時間
茨城県水戸市立吉田小学校

78 海外教育ニュース
三重県南勢町立五ヶ所小学校

80 ランチタイム
三重県南勢町立五ヶ所小学校

82 鑑賞席

84 編集後記

古都千年、獅子も千年

全国津々浦々で行われている祭りの中でもっとも活躍するのが獅子舞である。民俗芸能と呼ばれるふるさとの芸能では、一番広く分布し、その数もきわめて多い。

獅子は中国の霊獣とされているが、これが中国の芸能である「伎楽」の獅子舞として伝えられた。奈良の正倉院には、天平勝宝四（七五二）年の墨銘がある獅子頭が保存されているが、この年には東大寺の大仏開眼供養の盛儀があり、伎楽も上演されているのでその時に用いられた獅子頭であることが分かる。

聖徳太子を祀る大阪の四天王寺には、「聖霊会（せいりょうかい）の舞楽」が伝承され、いまでも獅子舞が演じられる。一千年を生きてき

白梅学園短期大学教授
高橋秀雄

た獅子舞なのである。

この獅子舞が全国の祭りに取りこまれてさまざまに展開し、それぞれに芸態の違う獅子舞を生み出した。とても四四（獅子）一六種類というものではない。

伎楽系の獅子舞は、二人立ちの獅子舞で胴幕の中に二人が入り四足の獅子になる。祭礼の行列の先頭になって邪気を払う。この種のものでは、かつて山伏修験の徒が舞わした山伏神楽の「権現舞」がある。神仏が仮りにこの世に現れた姿としてもっとも大切に舞わされる。「伊勢の代神楽」は、獅子頭を舞わしながら家々を祝い清めて歩くが、町や村の広場でさまざまな曲芸を演じて人びとを楽しませてくれる。

一方、一人立ちの獅子舞もある。それぞれに獅子頭を冠り囃子に合わせて舞う。関東から東北にかけては三人で一組となつて舞うので三頭獅子とも呼ばれる。長命・五穀豊穡・悪疫退散を願つて舞う。獅子頭は鹿や猪を模したものが多く、両乞いの祈りの強いところでは龍を模したのもある。

東北では鹿踊りと書いてシシオドリと訓んでいる。カノシシ（鹿）、イノシシ（猪）、アオジシ（羚羊）のシシなのである。このシシは古くは肉を指すことばであった。昔、日本人は牛や馬を食べなかつた。これらの動物は貴重な労働力であり、東北地方の曲がり屋にみられるように、家族の一員として大切にされていたからである。牛鍋などは明治以降になつてからのことであつた。その代り山野に住む動物の肉を食べた。カノシシ、イノシシと呼ばれる所以である。シシ食（ししじき）つた



たかはし・ひでお 一九五六年、文化財保護委員会（現文化庁）にて主任文化財調査官として無形文化財・民俗文化財の調査・指定。現在、日本伝統芸能研究所長・白梅学園短期大学教授。民謡文化堂受章。著書、「歌舞伎十八番」、「祭り—東日本・西日本」等多数。

随想

「報い」という諺（こたわら）があるが、ライオンを食べたわけではなく、食べてはいけなさとされる牛や馬をひそかに食べると罰があたつて、身体が異常になる報いが出ると考えていたのである。大正ロマンの小説に出てくる「太りじしの女」という表現は、他人様より栄養がよくて少々肥満体であるということなのである。

女性として初めての「国民栄誉賞」が贈られた美空ひばりの歌に「越後獅子の歌」があるが、この獅子舞は新潟から旅まわりをして各地を歩いた大道芸であつた。これが歌舞伎に取り入れられて長唄の名曲「越後獅子」になっている。

日本人に親しまれている獅子舞、面相が怖いからと「獅ッ獅ッ」と追い払わないうで、千年の間、日本人の幸せを祈つて舞い続けてきた実績を賞し、二一世紀にも「獅子奮迅」の舞を続けてほしいと願う。

▽今月は特別企画として、文部大臣のメッセージ、及び五輪金メダリストのインタビューを掲載しています。柔ちゃん&Qちゃんのお二人には、多忙なスケジュールの合間のインタビューでしたが、笑顔で応対していただきました。夢を現実のものとした二人の笑顔は、その胸の金メダル以上に輝いていました。夢に向かって前進しよう！というお二人のメッセージは、ぜひ多くの方に届いて欲しいです。

▽我が家の子どもも一歳を過ぎてから文化的？になり、音楽に合わせて身体を揺らしたり、紙にぐちゃぐちゃ落書きしたりと、毎日、あ、こんな事できるようになった！と感心の連続です。パパも残業が続いて起きている時間に帰れない日が続いています。…しかし次の瞬間には揺れすぎて頭をぶつけるわ、畳にも落書きするわ…で、まだまだ目が離せません。

大人の言うことは理解できるようになり「お出かけよ」と言うとう玄関へ、「お風呂だよ」と言うとう風呂場へトコトコ歩いてゆきます。赤ちゃん赤ちゃんといた〇歳児時代が昔のことのように、本当に子どもの成長はあっという間だなと感じます。

(Y・K)

投稿歓迎

「読者からのたより」欄への投稿、「文部時報読者アンケート」を歓迎します。本誌を読んでの感想、御意見等をお寄せください。

- 「読者からのたより」投稿規定
- ①1件につき400字以内 ②住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記(誌上匿名可) ③掲載分には薄謝進呈
- ※文章を一部手直しさせていただくことがあります。
- 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-2 文部省大臣官房政策課「文部時報」編集部
- ※電子メールでも受け付けております。
- 「文部時報読者アンケート」
- 文部時報読者アンケートは添付のはがきのほかに電子メールでも受け付けております。宛先名「jiho@monbu.go.jp」

コンピュータネットワークを利用した文教行政の広報

文部省では、我が国の文教施策等を広く皆様を紹介するため、インターネットホームページを利用して情報を提供しています。また、子どもホームページ試行版を設け、情報を提供しています。

ホームページアドレス：
<http://www.monbu.go.jp/> (半角入力)
 子どもホームページアドレス：
<http://www.monbu.go.jp/kodomohp/index.htm>

MESSC. 61 月刊

文部時報 11月号

第1494号

- 著作権所有——文部省[◎]
- 発行所——株式会社 きょうせい
- 本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12
- 本部 〒167-8088 東京都杉並区荻窪4-30-16
- 電話 03-5349-6666(営業部)
- URL <http://www.gyosei.co.jp>
- 印刷所——株式会社行政学会印刷所

平成12年11月10日印刷
 平成12年11月10日発行
 定価610円(本体581円)(〒84円)
 年間購読料7,320円

・ただし、増大号、臨時号の場合は別に代金を申し受けます。
 ・なお、購読のお申し込みは直接営業所またはもよりの書店にてお願いします。

●本誌の掲載のうち、意見にわたる部分については、それぞれ筆者個人の見解であることをお断りいたします。

Printed in Japan 2000 ISSN 0916-9830 ●この刊行物は再生紙を使用しています。